



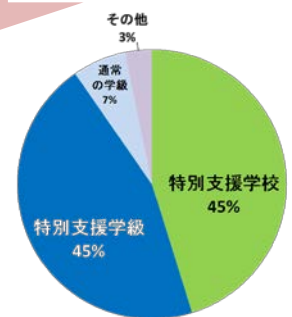
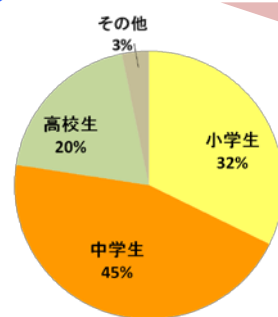
平成28年度 保護者向けセミナーを開催しました！！

平成 28 年 10 月 15 日に保護者向けセミナーを開催いたしました。今回の保護者セミナーは「基調講演」と「座談会」の2部形式で開催。基調講演では今年の春に就職された特別支援学校卒業生とその保護者、進路支援担当の教諭をお招きして体験談をお話いただきました。また7名の先輩保護者を囲んでの座談会は、ご参加いただいた保護者40名が3つのグループに分かれてのディスカッション形式で行い、各グループで様々な質問や意見が活発に交わされました。

↓【会場の様子】福岡市発達教育センターで行いました。



平成 28 年度保護者セミナー参加者の内訳



子どもの学年は？

子どもの学校は？

【当日の内容】

- 1 開会の言葉
- 2 教育委員会挨拶
- 3 基調講演
卒業生・保護者・進路支援担当者からの体験発表
福岡和白病院勤務 戸次 美里さん
(東福岡特別支援学校卒)
保護者 戸次 悦子 様
東福岡特別支援学校 進路支援担当 寺田 扶美鹿教諭
- 4 先輩保護者を交えた座談会
- 5 各グループからの発表
- 6 閉会の言葉

≪基調講演≫

戸次美里さんはこの春、東福岡特別支援学校を卒業され、福岡和白病院に就職されました。戸次さんの実際のお仕事の内容や様子、勤務先の上司の方のコメントなどを動画で紹介。戸次さんからはお仕事の感想ややりがい、当面の目標などをお話いただきました。

またお母様からは、就労に向けて家庭からの具体的なサポートやお子さんの就職活動中の苦労話や失敗談、社会人となった現在の生活の様子などを順を追ってお話いただきました。なかなか採用の知らせが届かない中、不安な日々を送ったこと、採用先である病院からの朗報に思わず涙が溢れたことなど、親子

の地道な努力が実った体験談に「わが身と重ねあわせて感動した」など、セミナーの参加者からとても好評でした。

3年間、戸次さんの就職活動をサポートしてきた進路支援担当の寺田教諭は、早い段階から就労を念頭にたくさんの実習を重ねてきたこと、また実習のたびに増えてくる課題にしっかり向き合っていて取り組んでいったこと、そして何より高等部卒業後の生活の糧として「働く」ということを親子でしっかりと確認できていたことが就労に結びついたと振り返りました。

戸次さんのお仕事の様子



→ 患者さんのサポート

→ 病院内のカルテや資料を回収



↑ 卒業生・保護者・進路支援担当者からの体験発表
東福岡特別支援学校卒業生
福岡和白病院 勤務
戸次 美里 さん(写真中央)

《先輩保護者を交えた座談会》

第2部の座談会では、卒業生の性別や出身校、職種、勤続年数の情報をもとに希望するグループを選んでいただきました。それぞれのグループごとに先輩保護者の方々がお子さんの就労状況や在学中の様子、家庭でのサポートの仕方などを話し、保護者からの質問に答えたりアドバイスや経験談をお話してくださいました。

各グループで話し合われた内容は、各グループのファシリテーターが最後にまとめとして発表いたしました。

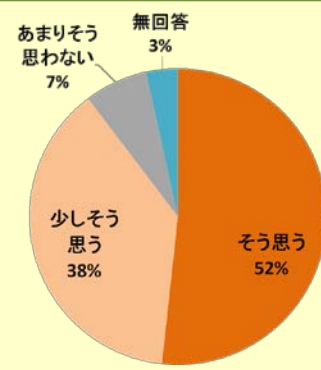
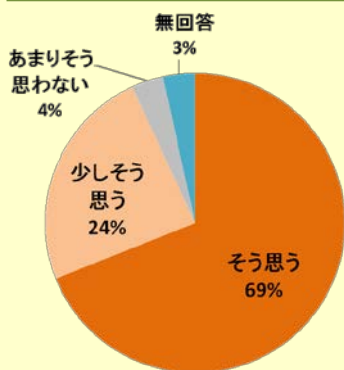
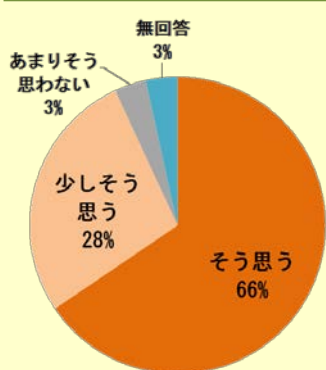
【参加していただいた先輩保護者】

	グループ	卒業生の性別	卒業生の出身校	卒業生の職種	卒業生の勤続年数
1	A	女	福岡中央特別支援学校	清掃・業務補助	5
2		女	博多高等学園	明太子工場内作業	6
3	B	女	福岡中央特別支援学校	清掃・業務補助	5
4		男	博多高等学園	倉庫内作業	9
5	C	女	東福岡特別支援学校	事務補助・その他	0.5
6		男	博多高等学園	ビル清掃	0.5
7		女	博多女子高等学校	店舗内商品管理	3

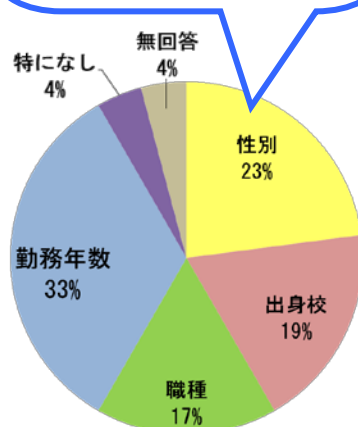
障がいのある方の働いているイメージができた

将来の就労に向けた家庭支援が理解できた

将来の就労について具体的に考えることができた



Q. 座談会のグループ選択の際、就労した卒業生のプロフィールの中で、あなたが重視した項目は何ですか？(複数回答可)



A グループ



Aグループでは、就労に向けて準備として取り組んだこと、特に7～8時間働けるだけの体力作りなどが話題となりました。

また、「どんな企業を選んでいいかわからない」「企業の障がい者に対するサポート体制」など、企業についての質問やジョブコーチシステムについての質問も出て、就労を想定した具体的な内容に話題が尽きず、時間が足りないくらいでした。

B グループ



Bグループの参加保護者は、卒業生の勤続年数の長さに興味をもったという方が多かったです。長く働き続けるための秘訣や仕事以外の余暇活動のことがテーマとなりました。そんな中でとにかく子どもには日常生活の中でいろいろなことをできるだけたくさん経験すること、また、働くことで本人もさらに成長していくことなど、先輩保護者のお話一同盛んに頷いていました。

C グループ



小学生のお子さんの保護者が多かったCグループでは、将来の就労を考えた時、現在の問題点をどう解決していくかという話題が多く取り上げられました。例えば周囲とのトラブルや情緒不安定をどう受け止めればいいのか。また嫌なことや面倒なことをなかなかやりたがらない時の対処法などの質問や悩みに対して、そうした時期を乗り越えて今に至る先輩保護者ならではの意見やアドバイスが出されました。

アンケートで頂いた質問に対する回答

仕事(企業)の決定についてお聞きします。親が決めるのですか、本人が決めるのですか？

→戸次さんのお母様に聞きました。

「家族や学校の先生とよく話し合った上で、やはり最終的には本人の意思や希望を優先しました。」とのご回答でした。他の保護者にも尋ねてみたところ、やはり本人が実習に行ってみた結果、その感触や「ここで働きたい」という意向を一番に考えて決めたという回答でした。

仕事に行きたくない、やめたいと言ったことはありますか。その時、どうしましたか？

→勤続年数が9年の卒業生の保護者に聞いてみました。

「今まで辞めたいと言ったことは一度もありません。仕事がかついことや困ったことはあったようですが、職場の方のお蔭もあり、その都度解決できていたようです。我が子の場合、そもそも『仕事をやめる』という発想がないのだと思いますが、何か仕事上で困ったことや悩みがあるときに、すぐに打ち明けられる方がいるか、あるいは相談窓口が職場にあるかどうかはとても大事なことだと思います。」というご回答でした。

長く勤めていくためには何をがんばったらいいですか？

→勤続年数が9年の卒業生の保護者に聞いてみました。

「特に意識してがんばったことは思いつかないのですが、毎日のお仕事に耐えうるだけの体力づくりは大事だと思います。また、お仕事以外の余暇の充実も仕事への意欲につながると思います。」というご回答でした。

お給料の管理はどうしていますか？

→先輩保護者の方に回答いただきました。

お給料全体に関しては保護者が管理されている方がほとんどでした。その中から決まった額をお小遣いとして本人に渡しているケースや本人の必要に応じて保護者が渡しているケースもありました。ただし勤続9年の卒業生については、通帳は保護者に預けているけれど、お給料自体はご自分で自由に使っているとのことでした。

ご参加いただいた皆様からのセミナーの感想の一部をご紹介します。

- ◆講演された卒業生の方の在学中の実習の多さにびっくりしました。また熱心な戸次さんのお母様にも頭が下がりました。とても勉強になりました。(特別支援学校・高等部 保護者)
- ◆わが子の将来が楽しみになりました。(特別支援学級・小学校 保護者)
- ◆高等部での実習の様子が詳しく聞けて良かったです。その後就労先での様子も聞けて安心しました。子どもがこれから「～したい」と思うことが見つかるといいなと思います。(特別支援学級・中学校 保護者)
- ◆勤続年数の長い方のお話を聞きたくて参加しました。仕事を長く続けていくコツをお聞きして、お母様が家庭での雰囲気づくりを大切にされていることがわかりました。そして仕事場での人間関係だけでなく、学生時代のつながりであったり、余暇の時間の充実が大切なんだと改めて思いました。またこのようなセミナーを開催してほしいです。(特別支援学級・中学校 保護者)
- ◆子どもの就職について身近に感じることができました。座談会という形式で発言の機会を設けていただいたことも大変有難かったです。(特別支援学校・中学部 保護者)
- ◆まだ小学生ですが、これから中学校、高校、そして就労へ向けての保護者の心構えを聞くことができとても参考になりました。日々の生活等をきちんとやらなければいけないと改めて考えることができました。(特別支援学級・小学校 保護者)
- ◆これまで就労に関する情報もなく、家庭からの支援もほとんど考えることができていなかったのですが、ご当人のお話や先輩の保護者の方のお話を聞いて、子どもの就労についてかなり具体的にイメージすることができました。将来に対して漠然とした不安を抱えて子どもに関わるより、こうしていろいろなお話を聞くことが大切なのだと思います。大切なことはとてもシンプルで当たり前のこと。当たり前のことをきちんと取り組んでいけば気持ちのいい社会人生活につながるのだと感じました。(特別支援学級・小学校 保護者)

【セミナー開催にあたり、たくさんのご協力・ご参加、ありがとうございました。】

職場実習のための事業所面談会

開催されます！

福岡地区の特別支援学校高等部の生徒を対象とした職場実習面談会が開催されます。将来就労を希望する特別支援学校の生徒たちが一般企業で実習の機会を得るための面接を受けるというもので、福岡県労働局主催のもと、福岡県教育委員会や福岡市教育委員会が共催します。

企業担当者に面接をしていただくことは、特別支援学校の生徒にとって貴重な体験です。緊張感をもって面接に臨むことができ、生徒にとっても保護者にとっても雇用に向けてのモチベーションにつながります。

また特別支援学校とつながりがないという企業の皆様も、特別支援学校の生徒たちの様子を見ることができ、実際に障がい者雇用につながった事例もあります。詳しくはお問い合わせください。

***実施日**
平成29年2月6日(月)
13:00~16:00

***場所**
福岡市市民福祉プラザ
ふくふくホール



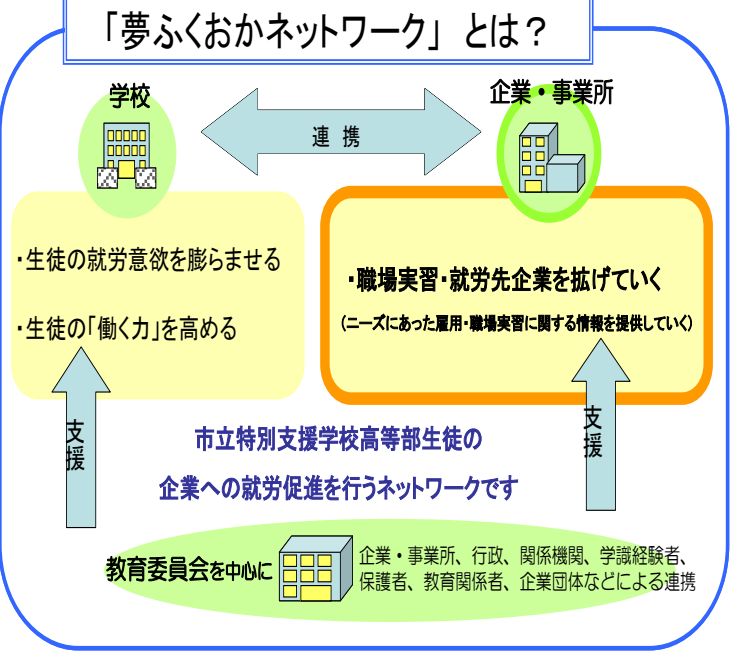
★問い合わせ先★ 特別支援学校高等部の生徒 → 学校
企業担当者の皆様 → お近くのハローワーク

「夢ふくおかネットワーク」登録企業を募集いたします！

福岡市教育委員会は、企業・事業所、学校、関係機関、保護者、学識経験者等によるネットワークを立ち上げました。障がいのある市内高等部生徒の企業・事業所就職を、雇用される側（生徒）、雇用する側（企業・事業所）の両側から捉え、推進していく取組を行っていきます。登録いただいた企業・事業所様へは、特別支援学校に関する情報の発信、企業・事業所間での情報交換の場の提供などを行っていきます。

《事業内容》

- 総会（年1回） ● 会報発行（メールにて配信）
- 各種セミナー開催
- 学校見学会、雇用企業・事業所見学会等のイベント開催
- 生徒の職場実習（インターンシップ）や雇用をお考えの企業・事業所様からのご相談を受けます



平成28年10月1日～平成28年11月30日までに
新規でご登録いただいた企業様

(公表許可を頂いた分を載せております)

医療法人財団 博愛会	株式会社シンコー	ヘアスタジオB. B天使
社会福祉法人 JOY明日への息吹 いるべ保育園	株式会社サンゲツ	株式会社日立物流九州
作州商事株式会社	株式会社ニューワシントンリネン	合同会社ゆめいる舎

「夢ふくおかネットワーク」登録ご希望の方は、発達教育センター(就職指導員 赤松)までご連絡ください。

福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜 2丁目 1-6
TEL 092-845-0015
FAX 092-845-0025
E-mail hattatuc.BES@city.fukuoka.lg.jp
HP <http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などを

※左記参照

